

別表 (別表第1、第3関係)

配管口径算定要領

1 換算管長を求める。

90° エルボ A表 45° エルボ A表 逆止弁 A表 仕切弁 A表
使用個数 の数値 使用個数 の数値 使用個数 の数値 使用個数 の数値
(×) + (×) + (×) + (×)

[A表]

(換算管長)

= m

種 別	口 径 (mm)	90° エルボ	90° ベンド	45° エルボ	逆止弁	仕切弁
SUS	100	3.2	—	1.5	8.7	0.7
	125	3.9	—	1.8	10.9	0.8
PE	PWA100	5.5	1.0			
	JWWA100	5.9	1.1			
	125	7.4	1.4			
	150	—	1.9			

2 管長を求める。

(実際の管長) (前1の換算管長) (管 長)
 m + m = m

3 摩擦損失水頭を求める。

(前2の管長) (B表の数値) (摩擦損失水頭)
 m × = m

[B表]

種 別	口 径 (mm)	定 数
SUS	100	0.0446
	125	0.0155
PE	PWA100	0.0612
	JWWA100	0.0418
	125	0.0117
	150	0.0100

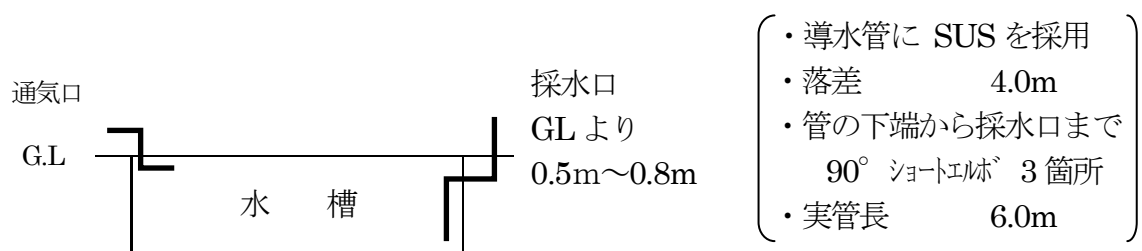
4 損失水頭を求める。

〔前3の摩擦
損失水頭〕 (採水口からの落差)
 m + m = m

よって、 m < 6.60m ならば吸水可能

(注) 上式を満足しない場合は、口径を換えて計算しなおす。

(例) (別表第1関係)



配管口径 100mm を使用すると仮定すると、管 長＝実管長＋換算管長

$$=6+(3.2 \times 3)=15.6\text{m}$$

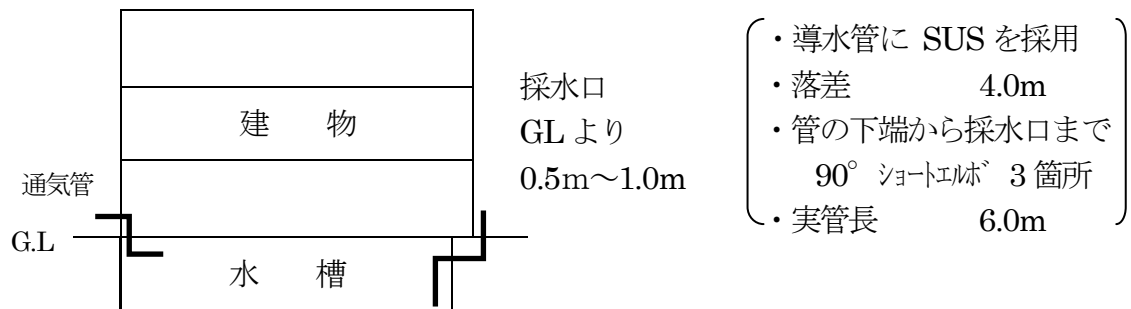
損失水頭＝摩擦損失水頭＋落差

$$=(15.6 \times 0.0446) + 4.0$$

$$=0.6957 + 4.0 = 4.6957$$

よって、 $4.6957 < 6.6$ となり配管口径 100mm で、満足する。

(例) (別表第3関係)



配管口径 100mm を使用すると仮定すると、管 長＝実管長＋換算管長

$$=6+(3.2 \times 3)=15.6\text{m}$$

損失水頭＝摩擦損失水頭＋落差

$$=(15.6 \times 0.0446) + 4.0$$

$$=0.6957 + 4.0 = 4.6957$$

よって、 $4.6957 < 6.6$ となり配管口径 100mm で、満足する。